

全学 F D 研修を実施しました

今年度の全学 FD 研修は昨年度に引き続き FD 委員会と教育イノベーションセンターの共同実施となりました。例年通り主に新任教員を対象とし、全 4 回にて実施しました。コロナ禍の状況のため前半 2 回はオンライン形式とし、オリエンテーションとし、ABD 読書法の研修を行った。後半 2 回は対面形式とし、「授業デザイン研修ワークショップ」をテーマに 3 グループに分けてのワークショップを実施しました。本年度は具体的に全学初年次教養科目である「地域とエネルギー（1 年生・前期）」を対象とし、講義内容や履修者数等、具体的な条件を付けてのシラバス作成を目指しました。各グループの教員（文理融合）の創意工夫や多くの参加者から自身の体験、あるいは今後取り組みたい事例案などが発表され、参加教員間で情報共有がなされました。

授業アンケートをおこないました

前・後期期間中に授業アンケートを行いました。今年度は従来の「学生の授業に対する理解や関心の度合いについて問う項目」に「学生の身に付いた力や授業方法について問う項目」を加えた計 8 項目のアンケートを実施しました。アンケートの内容と結果の詳細については FD 活動のページより学内限定でご覧いただけます。今年度は原則として対面授業となりましたが、オンライン授業期間に蓄積された ICT ツールを用いた教材の活用等、様々な工夫が凝らされたようです。次年度は新たな授業アンケートの実効性の向上、アンケート回収率の向上等を引き続き検討予定です。

全学 FD フォーラムを開催しました

3 月 9 日（木）に、文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室 課長補佐・高橋 浩太郎氏をお迎えし、「デジタル時代下の大学教育質保証システム」というテーマで FD フォーラムを開催しました。前半は教育の質保証の意味と意義、デジタル時代の教育の在り方、さらには質保証の実質化への転換について高橋氏にご講演いただきました。後半は摂南大学、大阪工業大学、広島国際大学における FD 活動の現状と課題を整理し、学園設置校間での FD 活動を軸とした大学間連携の可能性についてパネルディスカッションいただきました。

各学部・センターの今年度の FD 活動

理工学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

【ミッション】

- ①授業改善の見える化および共有（公開）。
- ②前期・後期授業見学強化月間および相互情報交換期間を設け、授業改善および授業力の向上。
- ③見学機会・回数の工夫。
- ④授業アンケート回答率の向上。
- ⑤アクティブ・ラーニング、反転授業等の新たな教育方式に取り組む人材の育成。
- ⑥FD フォーラムの開催。

【実績】

■授業見学強化月間 2022 年 11 月～12 月

見学者の感想・意見を従来のエクセル様式から Web に変更し、データ活用の利便性を向上しました。また、見学者の感想・意見は授業担当教員に対してではなく、見学者自身の授業改善に関する感想・意見を記入することとし、授業改善および授業力の向上を目指した活動となりました。

■理工学部 FD フォーラム 2023 年 3 月 14 日

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

理工学部 FD 委員会が FD フォーラムを企画し、時宜に沿ったテーマを設定のうえ各教員が直面する課題に対して、教員間で議論し教育改善に反映しています。今後はさらに、授業見学の感想・意見を活用し、どのような授業改善が行われたかについて確認し共有する方策について、協議していきます。

国際学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

■授業アンケート

授業アンケート実施および授業アンケート結果についてコメント記入の依頼を実施しました。昨年度に比べ回答率、コメント記入率ともに向上しました。

■国際学部 FD 研修 2022 年 11 月 29 日（火）16:30～18:00

「国際学部 1 年目の教育実践」をテーマとし、国際学部開設 1 年目を振り返り、「アクティブラーニング」「初修言語の導入教育」「英語教育における新たな取り組み」「1 年次ゼミにおけるプレゼン大会」など、新たな教育実践についての報告をもとに意見交換し、次年度に向けて改善を図りました。終了後に行ったアンケートでは多くの感想や意見が寄せられ、国際学部における新たな教育の取り組みに対する関心と意欲が高められました。

■授業アンケート利活用事例の共有

授業アンケート結果をどのように利活用しているか、GoogleForm を用いて、学部教員に事例を報告してもらい、学部内で共有しました。

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

学部で定めているアセスメントプランの PDCA サイクルに基づき、教育改善のための FD 活動を行っています。具体的には、

- ・ 授業アンケート結果をもとに授業方法、シラバスを見直すこと
- ・ 言語担当、ゼミ運営担当など各担当が、課題をもとに対策を考え、シラバスの改善や担当教員への周知を行うこと
- ・ FD フォーラムを通して得られた知見を改善に活かすこと

などが挙げられます。現在は、個々の授業内容や方法についての改善は各教員に委ねているため、具体的に改善の成果を確認するための仕組みを構築していきます。その一環として、今年度は上述のように、授業アンケート結果の活用事例を報告、共有することとしました。

経営学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

■授業公開 前期：2022 年 7 月 4 日（月）～7 月 16 日（土）

後期：2022 年 12 月 1 日（水）～12 月 14 日（木）

前期は 22 名、後期は 19 名の教員が各 2、3 件ずつ見学しました。見学結果は授業参観シートとして回収し、授業担当者にフィードバックしました。

■第 1 回 FD フォーラム 2022 年 7 月 26 日（火）16:40～18:10

テーマ：卒業試験について

講演者：機械工学科 学部教務委員長 石田秀士先生

参加者：23 名

■第 2 回 FD フォーラム 2022 年 11 月 1 日（火）11:00～12:30

テーマ：新任教員の教育・研究内容について

講演者：梅原喜政先生

参加者：18 名

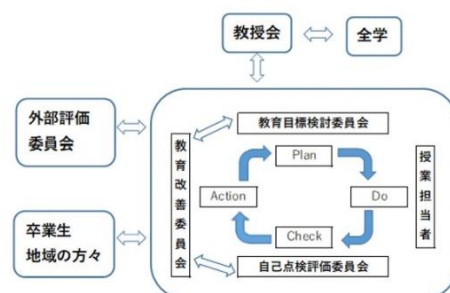
2 回の FD フォーラムを開催し、教員の活発な意見交換が行われました。

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

教育に関する自己評価システムとして、「教育目標検討委員会（Plan）※学部教務委員会が主担当」、「授業担当者（Do）」、「自己点検評価委員会（Check）※2022 年度新設」、「教育改善委員会（Action）※学部 FD 委員会が主担当」の 4 つの機関を設置し、各機関の活動を順次繰り返すことで PDCA サイクルを実現しています。これらの機関に加えて、「外部評価委員会」「卒業生・地域の方々」による第 3 者評価機関を設け、学内外からの視点で教育改善に繋がる仕組みづくりに取り組んでいます。



経営学部教育改善システム



法学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

■授業公開の実施 2022 年 12 月 1 日（木）～12 月 14 日（水）

本学部所属の専任教員すべてが参加しました。見学した授業に関して「参考になった点」「改善できると思われる点」を記入し、結果はより良い授業づくりの参考にするために各教員にフィードバックしました。

■FD フォーラムの実施 2023 年 2 月 21 日（火）

テーマ：立法実務の立場からの法学部教育

講師：寺山洋一氏（高崎経済大学非常勤講師・元香川大学法学部教授）

立法実務の視点から法学部の教育に関してディスカッションを行い、教育の改善につなげる機会となりました。



(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

学部で計画した教育改善に関する活動（Plan）を、授業担当者や学部内各種委員会で実施し（Do）、学部 FD 委員会でを行うアンケート等などの評価指標を踏まえ、必要に応じて教務委員会等の学部内委員会や外部評価委員と連携し、実施した活動の評価や改善点を検討し（Check）、改善点を抽出する。抽出した改善点を、教授会（教員全体）に報告することによって、教育の改善を図る（Action）とともに、次なる活動計画を策定（Plan）します。現在、法学部 FD 委員会が中心となり、この PDCA サイクルを通じて、FD 活動を教育改善に反映する仕組みの強化を図っています。

経済学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

「学生本位の教育」を実現するため次の FD 活動を実施しました。

■開講科目の成績分布に関する情報共有会 2023 年 1 月 17 日（火）

第 10 回経済学部教授会内で実施

担当者間・選択科目間・コース間で開講科目の平均点に統計学的に有意な差が存在していることを共有しました。この格差の改善策については、教員 FD 勉強会でも意見交換をしました。

■経済学部学生ミーティング 2023 年 2 月 28 日（火）オンラインで実施

1 年から 3 年次生の学生 13 名が参加し、履修、新型コロナ対策、設備（バス、駐輪場、ロッカー、食堂など）、その他について意見・要望を聞きました。これらの内容は、後述の FD 勉強会でも共有・議論をする他、意見のまとめを教務課にも送付しております。

■授業アンケートにもとづく教員表彰 2022 年 3 月 14 日（火）・FD 勉強会内で実施

■授業見学 2022 年 12 月 19 日（月）～後期終了まで

■教員 FD 勉強会 2023 年 3 月 14 日（火）

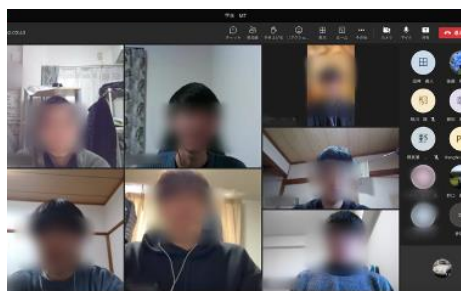
経済学部学生ミーティングによる学生からの意見、授業アンケート結果、開講科目の成績分布に関する情報共有会で明らかとなった開講科目の難易度の格差と学生の学びの成果の公平な評価について議論しました。

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

各 FD 活動の結果を教員 FD 勉強会で議論しており、これらがどのように教育改善につながることを期待されるかを解説しています。学生ミーティングでは、教員が気づきにくい履修上の問題点などの意見を学生から聞くことができる機会となっています。これらの意見を FD 勉強会で共有し、対応策を検討することで「学生本位の教育」の実現に貢献しています。授業見学については、見学結果の報告書を教員間で共有することで、学生本位の個々の教員の授業方法やスキルの持続的改善活動につなげています。



開講科目の成績分布に関する情報共有会
(2023 年 1 月 17 日・1124 教室)



学生ミーティング（スクリーンショット・2月28日に Teams で開催）
※プライバシー保護のため画像を加工しています。



経済学部 FD 勉強会（2023 年 3 月 14 日・経済学部会議室）

薬学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

教員の自主的な授業改善のため、これまでから「薬学部 FD ワークショップ」や「授業見学」などを実施してきました。今年度は次のとおり実施しました。

■薬学部 FD・SD フォーラム 2022 年 4 月 6 日（水）および 2022 年 9 月 8 日（木）

教員間、教員一事務職員間の情報共有、および後期講義における「授業見学」を実施しました。授業見学の報告書に関して、集計結果を薬学部の全教員で共有し、個々の教員の授業内容や方法についての改善に役立てていただきます。

■薬学部 FD ワークショップ 2023 年 3 月 11 日（土）

テーマ：価値ある対面授業への進化に必要な要素とは？

卒業を控えた 6 年生を交えて実施しました。

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

授業改善のための様々な FD 活動が行ってきました。しかしながら、授業内容や方法についての改善は各教員に委ねられており、FD 活動から得られた授業改善に関する気づきや知見が実際の授業改善にどのように反映しているのか検証する仕組みがありませんでした。そこで、「今後、FD 活動を教育改善に反映する仕組みをどのように構築するか」について、薬学部 FD 委員会で協議し、授業見学の報告書を一覧表にして薬学部全教員に配布するとともに、4 月および 9 月の「薬学部 FD・SD フォーラム」で授業改善に特に参考になる点などを継続的に紹介する場を設けることなどいくつかの案を検討しています。

看護学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

【ミッション】

- ①教員活動の公開・評価の実施と教育内容及び方法の改善
- ②授業・実習アンケートの実施
- ③授業改善のための研修会の実施
- ④全学委員会及び各学部委員会や外部機関との連携
- ⑤教員の研究活動の活性化

【実績】

■授業公開・見学：科目・時間を相互に公開し授業見学を促進しましたが、実習等の教員のスケジュール上、見学可能な科目が限られ、授業見学は不活発でした。

■学部 FD 研修会 2022 年 8 月 8 日（月）および 2023 年 3 月 10 日（金）

8 月は「研究」をテーマに実施し、所属教員の出席率 97%、学部外から 4 名参加ありました。事後アンケートは 97%が「満足」と回答しました。

3 月は「最近の大学生について」をテーマに実施しました。

■学部独自の授業・実習アンケートの実施

実習アンケートは 5 点満点中、平均 4.79 点であった。結果は教員間で共有し、学生へフォードバックし、結果を踏まえ教員表彰を実施しました。

■教員の研究発表会の実施 2023 年 3 月 22 日（水）

教員の研究発表会を実施し、研究活動の活性化を図りました。

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

学部 FD 研修会の 2 回目のテーマは「最近の大学生について」として枚方キャンパス 3 学部共催で開催し、教育改善に役立てています。看護学部独自の授業・実習アンケートに関し、学生の自由記入欄のコメントについては教員からフィードバックするようにし協力要請し、内容は学生に公表しています。教員表彰についての要件について、合理的かつ現実的なものとなるよう見直しと提案を行いました。また、実習アンケート実施要領および実習アンケート集計結果のレイアウト等を見直し、作業側の円滑さと結果を受けとった教員における結果の理解が深まるように修正しました。それらの結果を次年度の教育改善に反映するよう教員に協力要請しています。

農学部

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

■授業アンケートの実施

授業アンケートへ回答する学生の割合を増やすため講義終了間際ではなく、講義中で回答時間をとってアンケートへの回答を促すよう学部全体で取り組みました。

■農学部情報共有会 2022 年 7 月 29 日（金）

全教員を対象にして情報共有会を実施し、昨年度末に実施した外部評価委員のコメントを学部長から紹介し、高く評価されている点ならびに不足している点について、外部からの指摘を共有しました。

■ポスター発表 2022 年 12 月 16 日（金）

アクティブラーニング研究会によるポスターでの取り組み事例紹介を併せて、教員のアクティブラーニングへの取り組みをサポートする機会としました。

■講演会の実施 2023年3月10日（金）

テーマ：コロナ禍世代の学生の心理的特徴とこれから求められる学生支援について

講師：甲南大学文学部 高石恭子教授（学生相談室専任カウンセラー）

学生相談室との共催により外部講師による学生支援に関する講演会を実施しました。

(2) FD活動を教育改善に反映する仕組み

農学部各種委員会で企画・立案・検討した事項を、教授会等で承認したのち、全教員・構成員で実行し、実行した取り組みを、自己点検評価委員会や外部評価委員会で評価・検証することとしています。具体的には、アンケート回収率向上のための企画をFD委員会より提案し、教授会での承認後に全教員に依頼して実行してもらいました。アンケート回収率を直近の回収率と比較することにより、取り組みへの評価が容易に実行できました。実践による結果を教員で共有し、今後もこの取り組みを継続することとします。講義へのアクティブラーニングの導入の評価においても、アンケート集計結果を重視しています。

教職支援センター

(1) 2022年度FD活動のミッションおよび実績

■授業公開・見学の実施

本センターの教員間では、原則として全ての科目・時間を相互に公開して授業見学を促進していますが、時間割上、センターの教員間で見学可能な科目に限られ、実際には授業見学は不活発でした。

■成績および評価規準に関する情報交換

各教員の全授業科目について学生の成績評定結果を共有し、評価規準について情報・意見交換を行いました。これを通して、形成的また総括的な評価の観点から各教員がカリキュラム（授業内容）や科目運営（教育方法）等について省察を深めることができました。

■授業アンケート結果の共有

Webで共有されているもの以上に、自由記述の個別具体的内容と、その解釈や対応等について、日常的にインフォーマルな意見交換を行い、教育改善への足掛かりとしました。

(2) FD活動を教育改善に反映する仕組み

FD活動は目的ではなく教育改善のための手段ですが、教育改善もまた目的ではなく、学生の学習改善・促進のための手段です。学習主体が一人ひとりの学生であるならば、学習の改善や促進というのは学生一般のそれではなく、一人ひとり具体的な学生のそれでなければなりません。誰のどのような学習の改善や促進を支援すべきかは、対象たる学生の顔が見えなければできないものではありません。現状では様々な制約があるなかで、本センターでは上記FD活動を総合的なものとして実施することで、授業スキルの改善にばかり照準が合わせられがちな教育改善を、シラバスレベル、カリキュラムレベル、組織レベルで多角的・多面的に学生の学習改善・促進に結びつけようとしています。当面は、今年度から教職課程に義務づけられた自己点検・評価を活用し、批判的・建設的に検討を重ねていきます。

スポーツ振興センター

(1) 2022 年度 FD 活動のミッションおよび実績

【ミッション】

本学の教育に関する方針、教育理念に沿った安全で教育効果の高い授業方法及び授業計画を構築する。

【実績】

■2022 年度に向けた専任教員、非常勤講師による合同研修会の実施 2022 年 3 月 17 日

■スポーツ振興センター独自の授業アンケートの実施と結果のフィードバック

■授業手法の勉強会を実施（テニス・ボッチャ） 2022 年 6 月 21 日

■安全に配慮したスポーツ実習の環境づくりの一環として、受講者数が多いクラスや東グラウンドなど構内から離れた施設で行う授業の補助員として臨時要員（学生）を活用。

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

毎月第 3 木曜日に「スポーツ振興センター運営委員会」、同火曜日に「スポーツ振興センター教室会議」を定例で開催しています。具体的には大学・大学院運営会議、教務委員会、FD 委員会、学生委員会の情報や報告事項を共有することで本学の教育方針を確認する機会とし、必要に応じて授業方法や授業計画に反映させています。

上記以外にも緊急性の高い課題やスポーツ傷害が発生した場合はその都度会議を開催し、対策を講じることで安全で教育効果の高い授業の実現に努めています。

また、学生がスポーツを通じて主体的に学び、成長するための機会となるようにスポーツイベントを積極的に開催しています。更にイベントの参加者に実施したアンケート結果を共有することも教育改善に反映する仕組みの一つとしています。



摂南大学 WEB サイト FD 活動報告ページに詳細を掲載

FD ニュース本紙では、年度内の活動を簡単に紹介しています。

詳細はホームページ内の FD 活動のページをご覧ください。

摂南大学 Web サイトトップから、「教育・研究」>「教育システム」>「FD 活動」とお進みいただき、各活動の詳細をご覧ください。